

4. 資料
(1) 調査票

令和元年

東京消防庁
消防に関する世論調査
調査票

皆様のより安全で安心な暮らしのために、本世論調査の結果を今後の消防行政運営に反映させていきます。是非、あなたのご意見をお聞かせください。

※ 調査にご協力いただいた方には、後日、謝礼（図書カード500円分）をお送りします。

～ 記入上の注意事項 ～

1. 回答は調査票のあてはまる回答欄に☑又は番号に直接○印をつけてください。
2. 質問によって、1つだけ選択していただくものや、複数選択していただくものがあります。質問文中の「1つだけ」、「いくつでも」といった説明に沿って回答してください。
3. 「その他」を選ばれた場合は、()内に具体的な内容をご記入ください。
4. ご多忙中大変恐縮ですが、9月24日（火）までにご投函くださいますよう、お願い申し上げます。
5. 本調査票は、郵送回答の他、インターネット回答も可能です。
インターネット回答の場合は、下記アドレスへアクセスしてください。
 - ◆ パソコンからの回答はこちらから
(アドレス記載 <https://shoubou2019.jp>)
 - ◆ スマートフォンからの回答はこちらから
(アドレス記載 <https://shoubou2019.jp/sp>)



なお、受付画面に下記のIDとパスワードを入力後、回答してください。

ID : ●●●●● (半角数字で入力)
パスワード : ●●●●● (半角で入力)

インターネット回答につきましても、9月24日（火）までにご回答くださいますようお願い申し上げます。

6. 本調査票の設問・回答方法などに関するご質問は、下記までお願いいたします。

【問合せ先】

東京消防庁 企画調整部 広報課 都民の声係 (担当：赤松)
電話：03-3212-2111 内線 2325 FAX：03-3212-1027

I 消防行政に対する満足度

Q1 東京消防庁では、都民のみなさまの安全と安心を守れるよう、充実した消防の行政サービスを進めています。そこで、東京消防庁の取組への印象についてお伺いします。

下記AからDの分野について、あてはまるものを、それぞれ1つずつ選び、また、そのように回答した理由を下欄からいくつでも選んでください。

A 東京消防庁の火災などの災害に関する取組

※1つチェックしてください。

満足 5	やや満足 4	どちらとも言えない 3	やや不満 2	不満 1
---------	-----------	----------------	-----------	---------

【理由】※いくつでも選んでください。（どちらとも言えないと回答した方を除く）

- 1 日常における火災、救助への対応
- 2 大地震などによる大規模災害時への対応
- 3 集中豪雨などによる水災・土砂災害への対応
- 4 放射性物質、生物剤、危険物及び毒物などの特殊災害対応
- 5 消防団※の災害対応
- 6 都外及び国外への災害活動支援
- 7 その他（具体的に)

※ 消防団

様々な仕事につきながら「わが街を守る」という使命感のもと、自営業や会社員、主婦や学生などで組織されている消防機関です。

B 東京消防庁の救急業務に関する取組

※1つチェックしてください。

満足 5	やや満足 4	どちらとも言えない 3	やや不満 2	不満 1
---------	-----------	----------------	-----------	---------

【理由】※いくつでも選んでください。（どちらとも言えないと回答した方を除く）

- 1 救急隊の現場活動
- 2 応急手当（AEDの使い方など）の普及活動
- 3 救急相談センター（#7119）のサービス内容
- 4 その他（具体的に)

C 都民のみなさまの防災行動力向上に関する東京消防庁の取組

※1つチェックしてください。

満足 5	やや満足 4	どちらとも言えない 3	やや不満 2	不満 1
---------	-----------	----------------	-----------	---------

【理由】 ※いくつかでも選んでください。（どちらとも言えないと回答した方を除く）

- 1 地域における防火防災知識に関する普及啓発活動
- 2 地域における防火防災訓練指導
- 3 学生や児童への防火防災に関する普及啓発活動
- 4 高齢者や身体障害者など要配慮者への防火防災に関する普及啓発活動
- 5 消防博物館や防災館などの防火防災に関する施設
- 6 その他（具体的に

D 東京消防庁の火災予防に関する取組

※1つチェックしてください。

満足 5	やや満足 4	どちらとも言えない 3	やや不満 2	不満 1
---------	-----------	----------------	-----------	---------

【理由】 ※いくつかでも選んでください。（どちらとも言えないと回答した方を除く）

- 1 事業所（共同住宅の共用部分を含む）への防火防災指導
- 2 不特定多数の人が集まる施設への防火防災に関する規制
- 3 火災発生時の危険性が高い施設の公表
- 4 防火上優良であると認定された建物の表示
- 5 暮らしの中の火災事例に関する情報提供
- 6 その他（具体的に

Ⅱ 地震に関すること

大地震発生時の行動や備えについてお聞きします。

Q2 あなたが家にいる時、東京都に非常に大きな揺れがくることを示す緊急地震速報がテレビ、携帯電話、スマートフォンなどから流れました。あなたは、まず何をしますか。次の中から1つだけ選んでください。

- 1 テーブルの下に身を寄せるなど、身の安全を図る
- 2 使っている火を消したり、火の元を確認する
- 3 戸や窓を開け避難路を確保する
- 4 外に出る
- 5 そのままの状態様子を見る
- 6 その他（具体的に)

家庭での地震に対する備えについてお尋ねします。

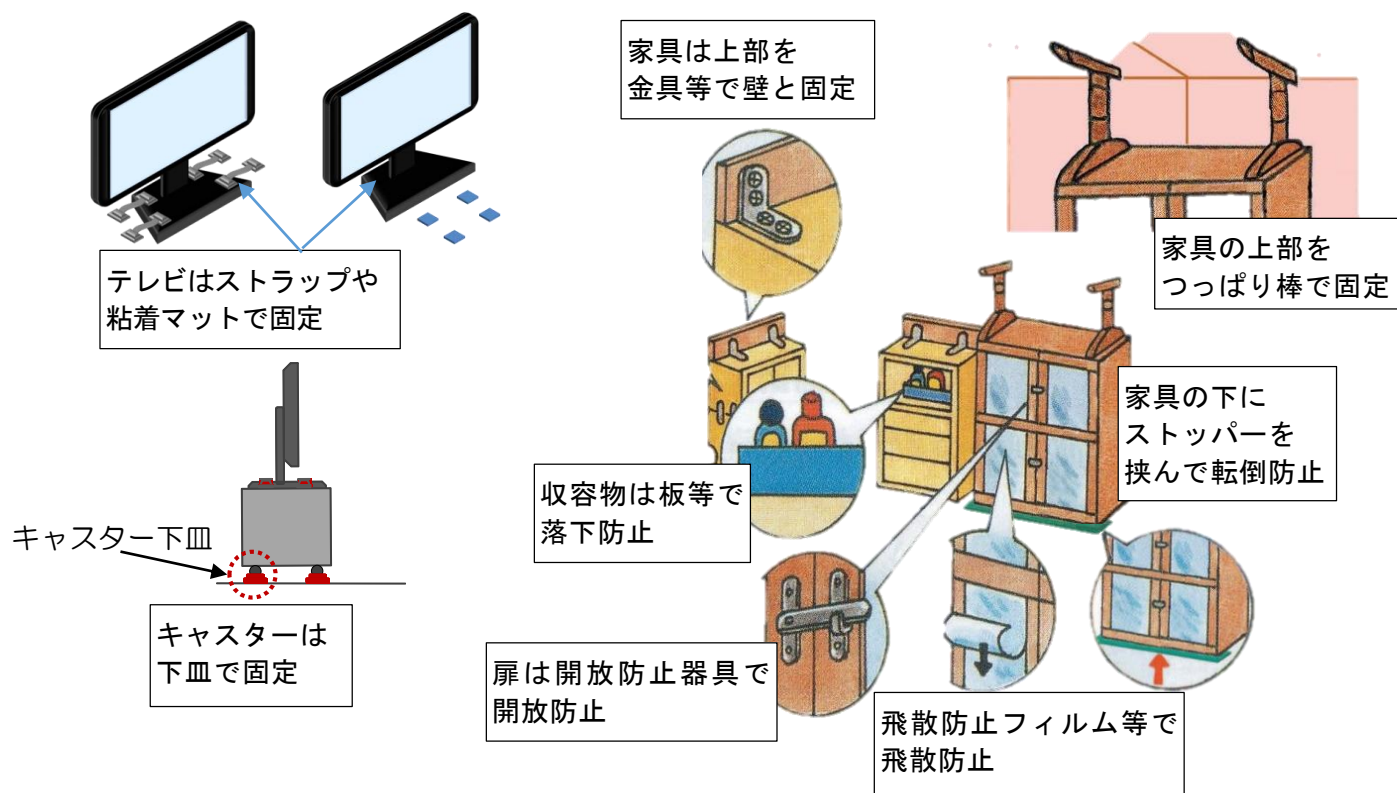
Q3-1 近年、日本で発生した大きな地震では、家具や家電が倒れてきたり、高いところに置いてある物が落ちたりすることにより、多くの方が負傷しています。

そこで、図1、図2を参考に、あなたの家での、「家具類の転倒・落下・移動防止対策」の実施状況を、次の中から1つだけ選んでください。

- 1 すべての家具類に実施している (→Q4へ)
- 2 一部の家具類に実施している (→Q3-2へ)
- 3 倒れる可能性のある家具類がない又は家具を置いていない (→Q4へ)
- 4 実施していない (→Q3-2へ)

【図1「家具類の転倒・落下・移動防止対策」例】

以下の対策を1つでも実施していれば、「実施している」に該当します。(あくまで参考例です。)



【図2「倒れる可能性のある家具類がない」例】



Q3-2 Q3-1で2又は4を選んだ方にお聞きします。家具類の転倒・落下・移動防止対策を実施していない（一部にのみ実施している方は、実施していない部分について）理由を、次の中からいくつでも選んでください。

- 1 面倒である
- 2 地震で家具が倒れるとは思わない
- 3 器具を売っている場所がわからない
- 4 器具が高価である
- 5 対策方法がわからない
- 6 建物の壁に取り付けられる場所がない
- 7 壁や家具にキズを付けたくない
- 8 建物が免震又は制振構造である
- 9 その他（具体的に)

Ⅲ 救急に関すること

「病院？ 救急車？ 迷ったら… #7119」・東京消防庁救急相談センターと東京版救急受診ガイドについてお聞きします。

Q4 急な病気やケガをして「病院へ行くか、救急車を呼ぶか迷った時、電話で相談ができ、また、インターネットを使って自身で症状の緊急性を判断できる、「#7119」*を知っていますか。次の中から1つだけ選んでください。

- 1 知っている
- 2 知らない

※ 「#7119」は、電話で相談できる「東京消防庁救急相談センター」と、インターネットによる「東京版救急受診ガイド」を総称したものです。詳しくは、東京消防庁ホームページ (<http://www.tfd.metro.tokyo.jp>) をご覧ください。

今までに、救急車を呼んだ（119番通報した）ことがある方にお聞きします。

Q5 あなたが、救急車を呼んだ理由を、次の中からいくつでも選んでください。

- 1 生命の危険があった
- 2 軽症や重症の判断がつかなかった
- 3 自力で歩ける状態でなかった
- 4 交通手段がなかった
- 5 病院へ連れて行ってくれる人がいなかった
- 6 どの病院に行けばよいかわからなかった
- 7 夜間・休日で診察時間外だった
- 8 救急車で病院に行った方が優先的に診てくれると思った
- 9 家族や友人、居合わせた人に薦められた
- 10 かかりつけの医師又は医療関係者に薦められた
- 11 「#7119」を利用したときに救急車を呼ぶことを薦められた
- 12 外出先で具合が悪い人やけがをした人を発見した
- 13 その他（具体的に)

応急手当についてお聞きします。

Q6-1 都民の方を対象に様々な応急手当を学ぶ救命講習が行われています。あなたは救命講習を受けたことがありますか。次の中から1つ選んでください。

- 1 受けたことがある (→ Q6-2へ)
- 2 受けたことがない (→ Q7-1へ)

Q6-2 Q6-1で1を選んだ方にお聞きします。救命講習のうち、あなたが受けたことのある講習を次の中からいくつでも選んでください。

- 1 応急救護講習（心肺蘇生法、AED取扱い中心の短時間の講習）
- 2 救命入門コース（小学校中・高学年等を対象とした講習）
- 3 普通救命講習（心肺蘇生法、AED取扱い中心の3時間程度の講習）
- 4 上級救命講習（3の講習内容に外傷応急手当等を加えた8時間程度の講習）
- 5 応急手当普及員講習（普通救命講習等の指導要領を学ぶ講習）
- 6 その他（具体的に _____)

Q7-1 あなたの周りの人が急病やけがをしたとき、あなたにできる応急手当を、次の中からいくつでも選んでください。

- 1 声をかけるなど励ます
- 2 反応（身体の動きや意識など）や呼吸などの確認
- 3 毛布をかけるなどして保温する
- 4 けが人や急病人の症状に適した姿勢にする
- 5 やけどの手当（冷やす、被覆する）
- 6 出血を止める
- 7 骨折が疑われる部位を固定する
- 8 のどに異物がつまった時に、背中を叩いたり、口の中からかき出す
- 9 AED（自動体外式除細動器）の使用
- 10 胸骨圧迫（心臓マッサージ）
- 11 人工呼吸
- 12 その他の応急手当（具体的に _____）
- 13 何もしない（→Q7-2へ）

（13以外を選んだ方はQ8-1へ）

Q7-2 Q7-1で13を選んだ方にお聞きします。あなたが、何もしない理由は何ですか。次の中からいくつでも選んでください。

- 1 何をしたらよいかわからないから
- 2 かえって悪化させることが心配だから
- 3 誤った応急手当をしたら責任を問われそうだから
- 4 感染などが心配だから
- 5 怖いから
- 6 触るなど教わったから
- 7 自信がないから
- 8 関わりたくないから
- 9 その他（具体的に _____）

IV 自主防災に関すること

防火防災訓練などについてお聞きします。

Q8-1 あなたが最近1年間で参加したことがある防火防災訓練や東京消防庁主催のイベントなどがありますか。次の中からいくつでも選んでください。

- 1 消火訓練
- 2 応急救護訓練（AEDの取扱い、心臓マッサージなど）
- 3 避難訓練
- 4 救出・救助訓練
- 5 水災に関する訓練
- 6 地震の揺れから身を守る訓練（起震車による地震体験など）
- 7 VR防災体験車[※]による災害疑似体験
- 8 防災講演会、座談会、シンポジウムなど
- 9 その他（具体的に _____）
- 10 どれも体験・参加したことがない（→Q8-2へ）
(10以外を選んだ方はQ9-1へ)

※ VR防災体験車

地震・火災・風水害の災害を360度のバーチャルリアリティ映像とモーションシートの揺れや風、熱などの演出により、災害を疑似体験ができます。



Q8-2 Q8-1で10を選んだ方にお聞きします。参加したことがない最も大きな理由を、次の中から1つだけ選んでください。

- 1 過去に参加したことがある訓練と同じような内容だから
- 2 一緒に参加する人がいないから
- 3 訓練に関心がないから
- 4 休養したいから
- 5 訓練の時間帯が合わないから
- 6 訓練のあることを知らなかったから
- 7 その他（具体的に)

V 消防団に関すること

消防団についてお聞きします。

Q9-1 あなたは、あなたの地域の安全・安心を守る消防団を知っていますか。次の中から1つだけ選んでください。

- 1 知っている (→Q9-2へ)
- 2 名前は聞いたことがある (→Q9-2へ)
- 3 知らない (→Q12-1へ)

Q9-2 Q9-1で1又は2を選んだ方にお聞きします。地域の安全・安心を守るため、あなたは消防団に入団したいと思いますか。次の中から1つだけ選んでください。

- 1 入団したい (→Q10へ)
- 2 条件が合えば入団してもよい (→Q10へ)
- 3 入団したいと思わない (→Q9-3へ)
- 4 わからない (→Q10へ)
- 5 すでに入団している、又は、入団していたことがある (→Q10へ)

Q9-3 Q9-2で3を選んだ方にお聞きします。入団したいと思わない理由を、次の中からいくつでも選んでください。

- 1 関心がないから
- 2 活動内容を知っているが、自分がやりたくないから
- 3 消防団についてよく知らないから
- 4 活動する時間がないから
- 5 その他 (具体的に)

Q10 次の内容は消防団員の待遇についてです。あなたが知っていることを、次の中からいくつでも選んでください。

- 1 年額報酬が支払われる
- 2 災害や警戒で出場した場合は、手当が支払われる
- 3 功労に応じて表彰制度がある
- 4 消防団活動でけがなどした場合は、補償制度がある
- 5 消防団の活動服や制服が支給される
- 6 特別職の地方公務員である
- 7 全て知らない

Q11 消防団の活動であなたが魅力を感じることにについて、次の中からいくつでも選んでください。

- 1 地域社会に貢献できる
- 2 自分の住む地域又は働く地域との結びつきを強められる
- 3 女性が活躍できる場がある
- 4 制服を着て活動ができる
- 5 防火服を着て火災現場で消火活動ができる
- 6 応急手当の知識や救助技術が身につく
- 7 無線や船舶の資格を取得できる機会がある
- 8 年額報酬や出場手当が支払われる
- 9 功労に応じて表彰制度がある
- 10 消防団活動でけがなどをした場合は、補償制度がある
- 11 学生消防団員には、就職活動を支援する制度がある
- 12 特別職の地方公務員である
- 13 その他(具体的に)

VI 火災予防に関すること

住宅用火災警報器^{※1}についてお聞きします。

Q12-1 住宅用火災警報器は、全ての居室^{※2}、台所、階段に設置が義務付けられています。あなたのお住まいの設置状況を、次の中から1つだけ選んでください。

- 1 全てに設置している (→Q12-2へ)
- 2 一部にしか設置していない (→Q12-2へ)
- 3 自動火災報知設備又はスプリンクラー設備が設置されているため、住宅用火災警報器は設置していない
- 4 全く設置していない

※1 住宅用火災警報器とは、煙や熱を感知すると警報音や音声を発して火災を知らせる機器です。火災の感知だけでなく、ガス漏れも感知する複合タイプもあります。(法令に基づきマンションなどに設置されている自動火災報知設備や単独のガス漏れ警報器とは異なります。)



※2 居室とは居間、ダイニング、子供室、寝室など常時継続的に使用する部屋をいい、浴室、トイレ、納戸などは含みません。

Q12-2 Q12-1で1及び2を選んだ方にお聞きします。

住宅用火災警報器は設置から10年が経過している場合は本体交換^{※1}を推奨しています。あなたはこれまでに住まいの住宅用火災警報器の作動確認^{※2}及び本体交換を実施したことがありますか。次の中から1つだけ選んでください。

- 1 作動確認を実施した
- 2 本体交換を実施した
- 3 どちらも実施した
- 4 知っているが実施していない
- 5 知らなかった

※1 本体交換とは、自動試験機能や作動確認により機器の異常が判明した場合や自動試験機能を有さない住宅用火災警報器の交換期限が近くなった場合に交換することを言います。

※2 作動確認とは、住宅用火災警報器の本体に付いているボタンを押したり、ひもを引くことによって、住宅用火災警報器が正常に作動しているかを確認することと言います。

<フェイスシート>

ご意見をお伺いすることは以上で終わりですが、お答えを統計的に分析するために必要なことを伺わせてください。

お住まいの地域 () 区・市・町・村)

性別 1 男性 2 女性

年齢 1 10代 2 20代 3 30代 4 40代
5 50代 6 60代 7 70歳以上

ご職業 1 自営業主 2 家族従業(家業手伝い)
3 勤め(フルタイム) 4 勤め(パートタイム)
5 無職の主婦・主夫 6 学生
7 その他の無職
8 その他 ()

家族構成 あなたご自身、もしくは同居している方の中に、次にあてはまる方がいらっしゃれば、すべて選んでください。

- 1 6歳以下の乳幼児 2 65歳以上の方
3 病気などで寝たきりの方 4 身体の不自由な方
5 いずれもない

住居形態 あなたのお住まいは、次の中のどれにあたりますか。

- 1 一戸建て
2 マンション・アパート (何階にお住まいですか→ 階)
3 社宅・公務員住宅・寮・寄宿舎など (何階にお住まいですか→ 階)

建物構造 あなたのお住まいの構造は、次の中のどれにあたりますか。

- 1 耐火造 (鉄骨造、コンクリート造など)
2 耐火造以外

所有区分 あなたのお住まいの所有区分は、次の中のどれにあたりますか。

- 1 持家 (家族所有含む)
2 賃貸

消防との関わりについて 消防と関わった経験について、次にあてはまる内容があればすべて選んでください。

- 1 救急車を呼ぶため119番通報をしたことがある
- 2 火災など、災害で119番通報をしたことがある
- 3 仕事で消防署に行ったことがある（届出、申請、相談など）
- 4 その他（具体的に _____）

質問はすべて終了です。ご協力、誠にありがとうございました。

東京消防庁に関するご意見やご提案がございましたら、ご自由にお書きください。



ありがとうございました！